

なっています。

#### 4. おわりに

日本の近代砂防技術はヨーロッパ、とりわけオーストリアとの縁が深い技術です。明治33年に東京帝国大学に「森林理水・砂防工学研究室」が設置されました。初期の教官はヨーロッパから招聘したKarl Hefele（ミュンヘン大学）、Amerigo Hofmann（ウィーン農科大学卒）であり、日本人初の教官である諸戸北郎博士もオーストリアへ留学され、ウィーン農科大学で学

び、その後東京帝国大学砂防担当教授兼内務省嘱託となられています。砂防の父とも言われる赤木正雄博士も内務省時代にオーストリアへ自費留学されたのは有名な話です。そのような事を考えると、インタープリバントのコアメンバーとして日本がこの国際学会に参画している意味と大切さに思い至ります。環太平洋インタープリバントが過去に3度も日本で開催されているのも意義深いことです。

さらに、本年10月にインタープリバント富山2018が開催されるこ

とはインタープリバント参加国からも評価され、また期待もされています。オーストリアと縁の深い立山砂防初代所長の赤木正雄博士が計画した白岩堰堤等もエクスカージョンに組み込まれており、是非インタープリバント参加国メンバーにもこの砂防施設を見てもらいたいものです。インタープリバント富山2018が50周年の掉尾を飾るイベントとなるのも何かの巡り合わせと言えましょう。

## 海外事情 世界の土砂災害（第22回）2017/10/1~2018/3/31

（一財）砂防・地すべり技術センター 企画部 国際課

発生日	国名	種別	概要
2017年 10月12日	ベトナム	洪水・崩壊	熱帯低気圧に伴う豪雨によって、ベトナム北部や中部で複数の洪水と土砂崩れが発生した。特に土砂災害については、同国で8月に被災した地域で再度発生した。ベトナム災害当局は、同地域では死者が75人、行方不明者28人、浸水または倒壊の被害に遭った家屋の数が5万棟以上に上り、同国で近年発生した自然災害としては最悪規模となったと発表した。
12月16日	チリ	崩壊	同国南部のビラ・サンタ・ルシア (Villa Santa Lucia) では、15日に大雨が降った後、16日に土砂崩れが発生し、少なくとも5人が死亡し、15人が行方不明になった。
12月17日	フィリピン	洪水・崩壊	フィリピン東部のビリラン (Biliran) 州で、台風26号の影響による土砂崩れが4か所で発生し、合わせて26人が死亡、23人が行方不明となった。また、翌週22日には、台風27号が再び同国を襲い、南部ミンダナオ島 (Mindanao) では土砂崩れや洪水の影響による死者が240人に達した。
2018年 1月3日	コンゴ民主共和国	洪水・崩壊	コンゴ民主共和国の首都キンシャサ (Kinshasa) の貧民街で3日から4日朝にかけて豪雨による洪水と土砂崩れが発生し、44人が死亡した。
1月9日	アメリカ合衆国	土石流	カリフォルニア (California) 州南部のサンタバーバラ (Santa Barbara) 郡モンテチート (Montecito) で1月9日の早朝に土石流が発生し、21人が死亡し、2人が行方不明となった。この災害は大規模な山火事の1か月後に発生した。この山火事で斜面が荒廃し、そのために土石流が発生しやすくなった。この土石流によって、少なくとも1.77億ドルの物的被害が生じ、その他、緊急対応に700万ドル、清掃に39万ドルを要した。
2月18日	モザンビーク	崩壊	18日夜、首都マプト (Maputo) のスラム街のゴミ集積所で、集中豪雨によりゴミ山が崩壊し、隣接する5軒の小屋が埋塞された。これにより17人が死亡した。
2月22日	インドネシア	崩壊	中部ジャワ (Java) 州ブレブス (Brebes) 県の農村地帯で、午前8時頃、棚田が幅150m、長さ400mほどに渡って崩壊して農作業中の住民20名が飲み込まれ、亡くなった。
2月26日	バブアニューギニア	崩壊	震源地はエンガ (Enga) 州ポルゲラ (Porgera) の南約90キロの地点を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、30人余りが死亡したとみられる。なお、その後、大きな余震が少なくとも2回発生している。死者の多くは地震で発生した土砂崩れによるものと推定される。